

2024年3月期（第14期） 通期決算説明資料

2024.5.10

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村拡伸



テクノホライゾン株式会社

目次

1. 2024年3月期（第14期） 通期決算概要
2. 2025年3月期（第15期） 通期業績予想
3. トピックス

1. 2024年3月期（第14期） 通期決算概要

(1) 2024年3月期 損益サマリー

単位：百万円

前年度実績比
増収増益**増収要因：**

- ・「映像&IT」増収
(シンガポール2社が堅調に推移)
- ・連結範囲の拡大が寄与

増益要因：

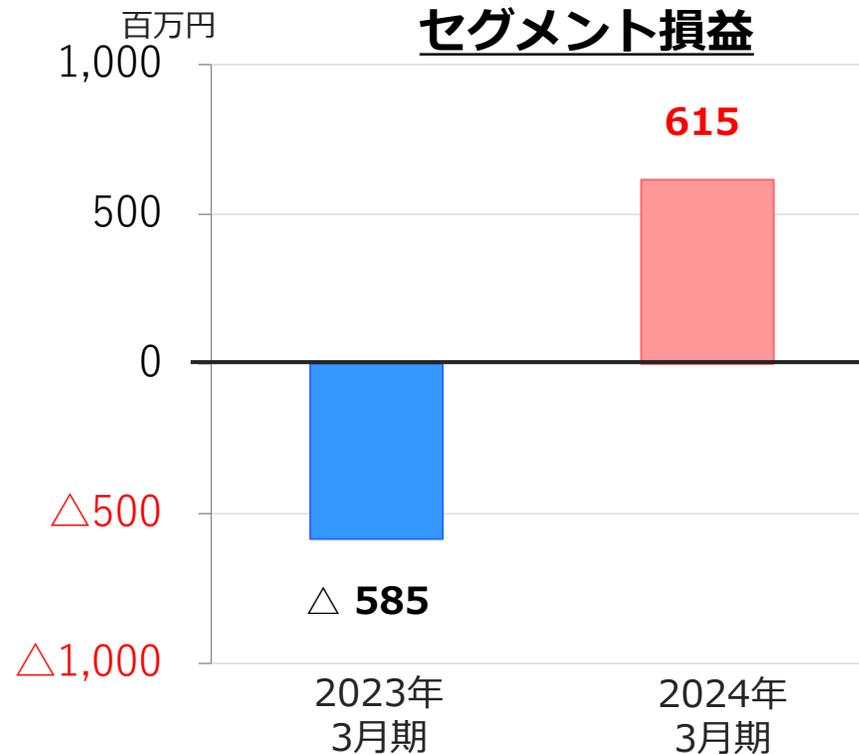
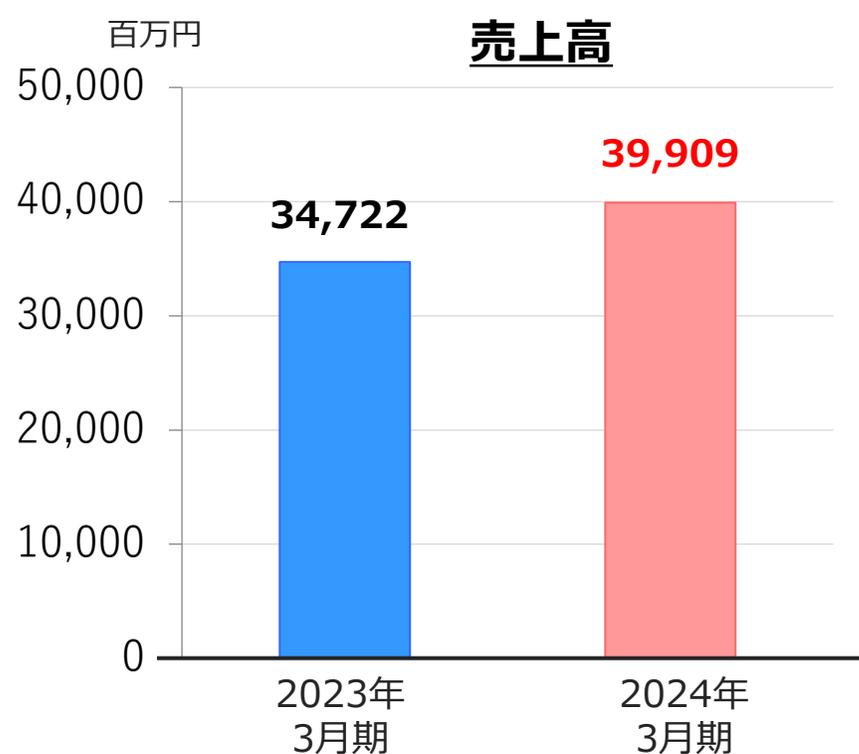
- ・売上の増加
- ・販管費の減少

その他：

- ・営業外収益532百万円(為替差益)
- ・特別損失 201百万円(製品保証引金)

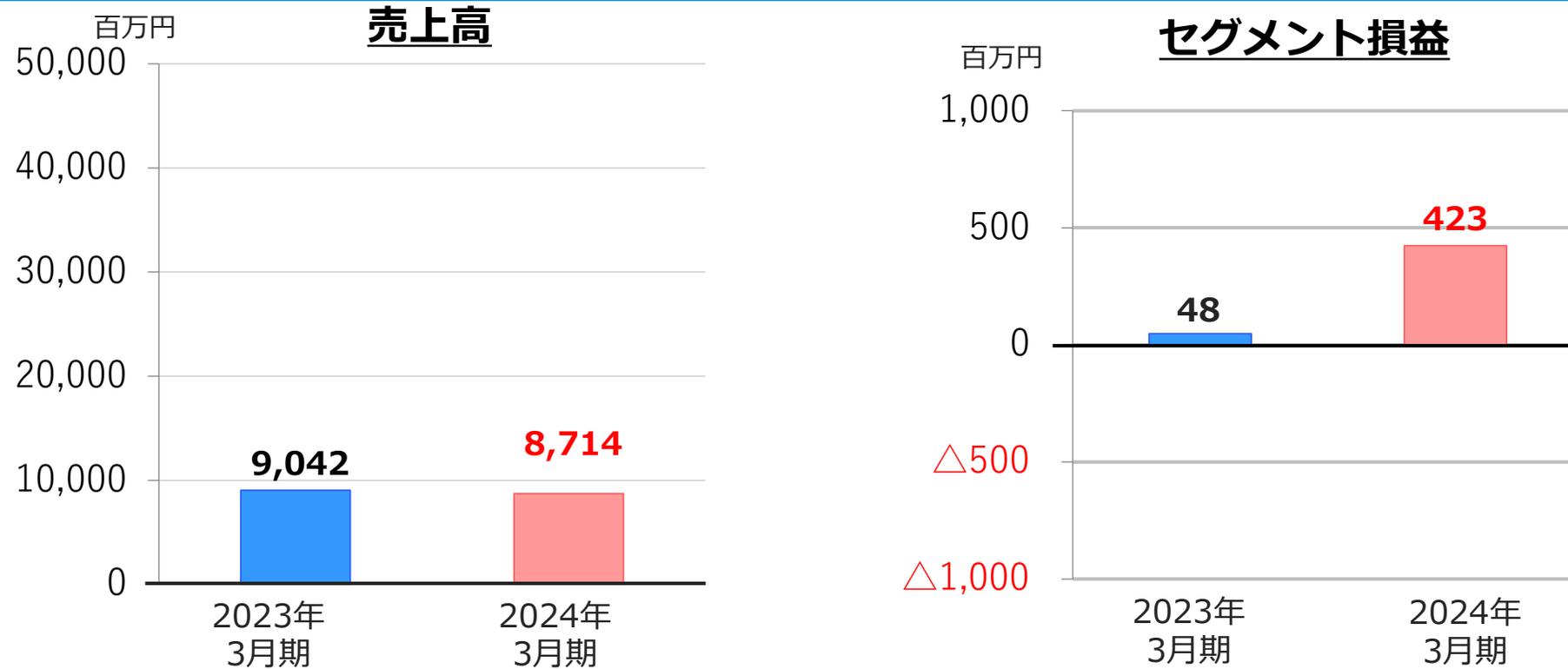
	2023年 3月期	2024年 3月期	増減	増減率
売上高	43,765	48,623	+4,858	11.1%
映像&IT	34,722	39,909	+5,187	14.9%
ロボティクス	9,042	8,714	△328	-3.6%
営業利益	△530	1,036	+1,566	—
経常利益	△405	1,709	+2,114	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△1,553	1,001	+2,554	—

(2) 映像 & IT 事業セグメントの損益



- ・ 教育市場（電子黒板、書画カメラ等）：①国内 ICT機器の導入が想定より進まず
②欧米 アメリカで計画を下回る
- ・ 業務用車載機器（ドライブレコーダー、デジタルタコグラフ）：電子部品の供給不足が穏やかに解消し出荷が進む
- ・ シンガポールの子会社2社（アジア地域でのサイバーセキュリティ製品の卸売及びオフィス機器やAVシステムの販売）が堅調に推移

(3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ FA事業関連機器：①国内 労働力不足による工場の省力化ニーズは堅調
②中国 景気減速による設備投資抑制の影響

(4) 2024年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2023年 3月期	2024年 3月期	増減
流動資産	27,386	26,360	△ 1,025
固定資産	9,516	9,731	+ 214
資産合計	36,903	36,092	△ 810
流動負債	22,758	21,127	△ 1,631
固定負債	5,433	5,151	△ 282
負債合計	28,192	26,279	△ 1,913
株主資本	7,177	8,091	+ 913
その他の包括利益合計額	1,527	1,708	+ 179
純資産合計	8,711	9,813	+ 1,102
負債純資産合計	36,903	36,902	△ 810
自己資本比率	23.6%	27.2%	3.6pt

流動資産

- ・受取手形及び売掛金 : △271百万円
- ・電子記録債権 : △58百万円
- ・在庫 : △709百万円

固定資産

- ・投資その他の資産 : △136百万円

流動負債

- ・支払手形及び買掛金 : △ 2,305百万円
- ・短期借入金 : △414百万円

固定負債

- ・長期借入金 : △486百万円

純資産

- ・利益剰余金 : + 943百万円
- ・為替換算調整勘定 : + 179百万円

2. 2025年3月期（第15期）通期業績予想

(1) 2025年3月期 業績予想 (前期比較)

単位：百万円

	2024年 3月期 (実績)	2025年 3月期 (予想)	増減	増減率
売上高	48,623	50,000	1,377	2.8%
営業利益	1,036	1,050	14	1.3%
経常利益	1,709	900	△ 809	-47.3%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,001	600	△ 401	-40.1%

前年度実績比
增收減益

增收要因

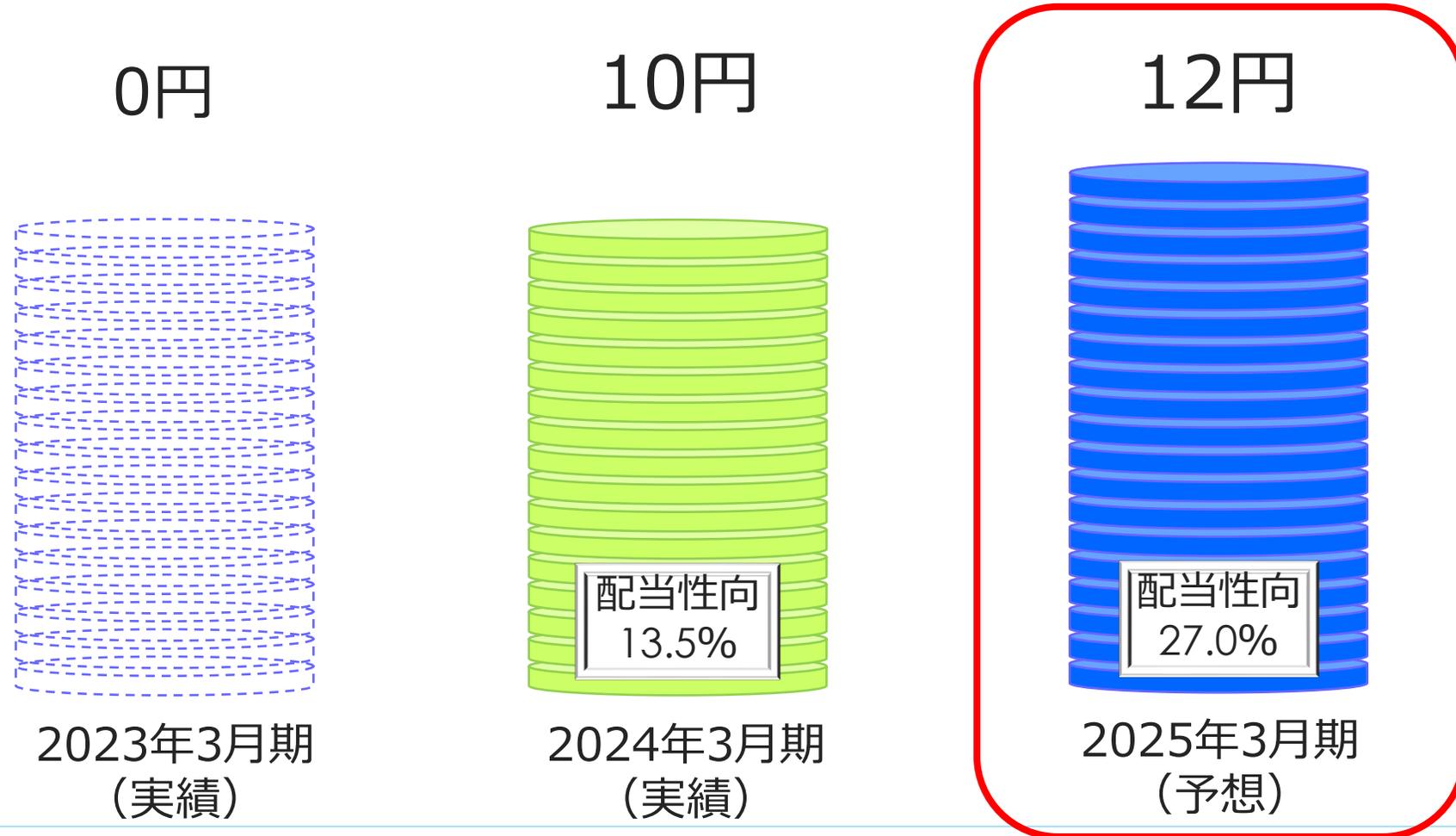
- ・買収先企業とのシナジー追求
- ・既存事業の底上げ

減益要因

- ・営業外収益(為替差益)の減少

(2) 2025年3月期 配当予想

年間配当予想：年間**1株あたり12円**



3. トピックス

(1) 2024年4月1日に新組織体制発足

➤ 経営執行体制の変更

- ✓ 指揮命令系統の明確化・意思伝達系統の簡素化により迅速な業務執行の促進を図るため 事業本部体制と執行役員制度を廃止

➤ フラットな組織体制

- ✓ 風通しをよくすることで現場スピードの促進につながり、早期課題解決を図る

➤ 著しい経営環境の変化に着実に対応

- ✓ 当社グループの持続的な発展へ

(2) テクノホライゾングループが創るスマートDXの世界

Techno Horizon Unicity

街に暮らす人々が効率よく快適に暮らし働ける場所に変えていきます

- ✓ 建物を造り直す、街を再開発するわけではありません。
- ✓ 保有する技術、これから生み出す技術でスマート化された暮らしを創造していきます。



(3) テクノホライゾングループが目指す明るい社会

学校・教育

- ★ 誰もがどこからでも質の高い教育を受けられる新しい学びの場を提供
- ★ データとテクノロジーで最適な指導のアドバイス、働き方改革実現

オフィス

- ★ 経営者、従業員の創造力、マネジメント力の最大化ソリューション提供
- ★ 効率（生産性）の向上

店舗・住宅

- ★ 店舗/交通/オフィス/工場などのあらゆる生活シーンを映像とITで「街=CITY」を繋ぐ
- ★ 建設/施工-店舗運営-セキュリティ-サポートのDX化実現

交通

- ★ 安心安全な運行、事故削減、マナー改善に貢献
- ★ 交通機関を利用する人やモノの移動に生じるリスクを軽減

医療・介護施設

- ★ 映像・センシング技術による介護現場のDX化
- ★ 映像技術を応用した先端医療機器の開発

工場

- ★ 様々な制御技術、光学技術、IT技術でスマートファクトリー化に貢献
- ★ 成形市場・基板実装市場をリード
- ★ 自動化困難な目視検査の自動化



(4) 認知度アップ：展示会等への出展

年間を通じて国内外75超の展示会等に出展予定



---- 今期開催情報 ----

今年もプライベート展示会を開催しました。
ご来場誠にありがとうございました。



テクノホライゾン ソリューションEXPO 2024

横浜会場

会期：2024年11月6日（水）・7日（木）

会場：パシフィコ横浜 展示ホールD



(5) グローバル化を加速

国内46拠点
海外44拠点

多様性に満ちた人材で
グローバルなニーズに応える

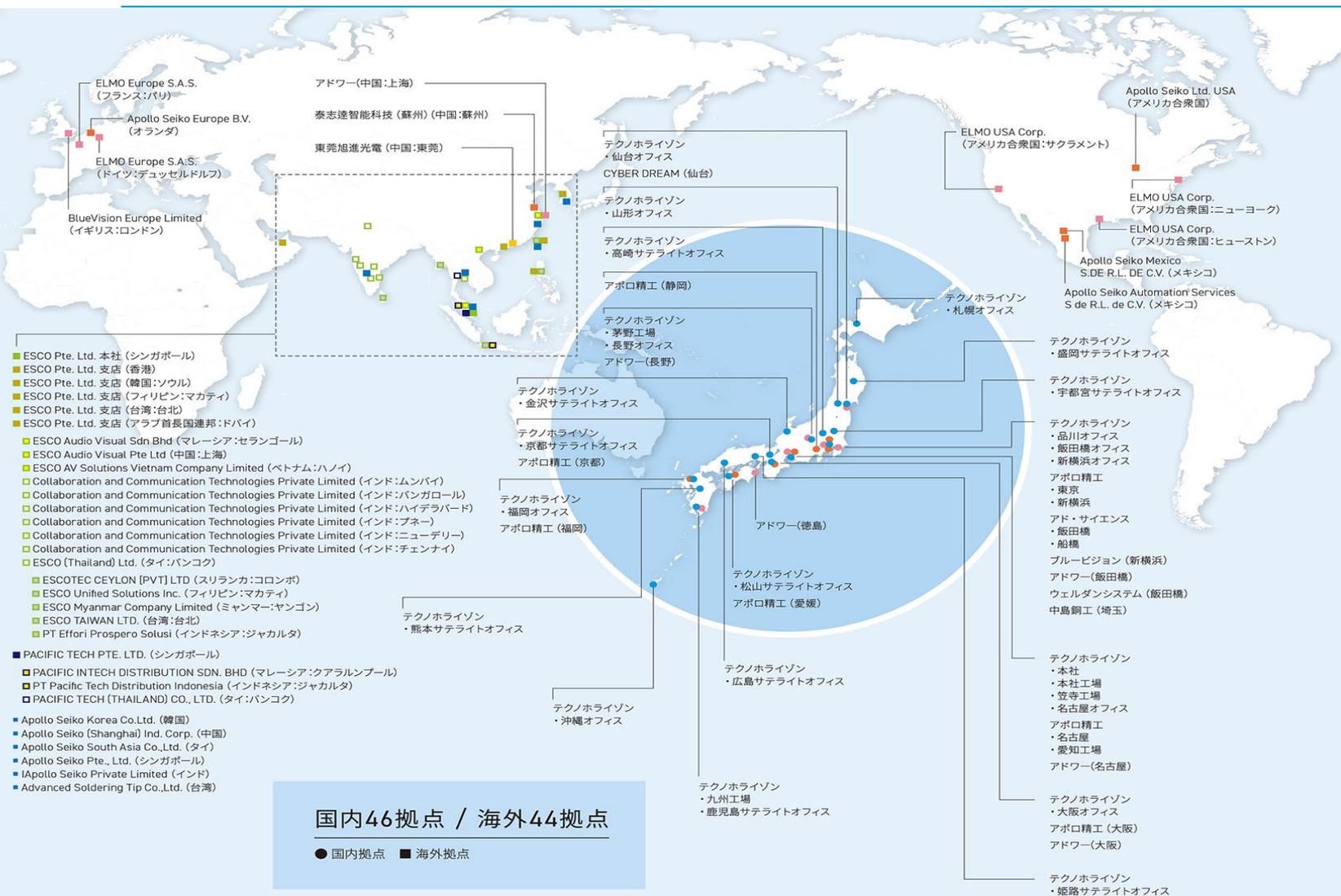


課題感

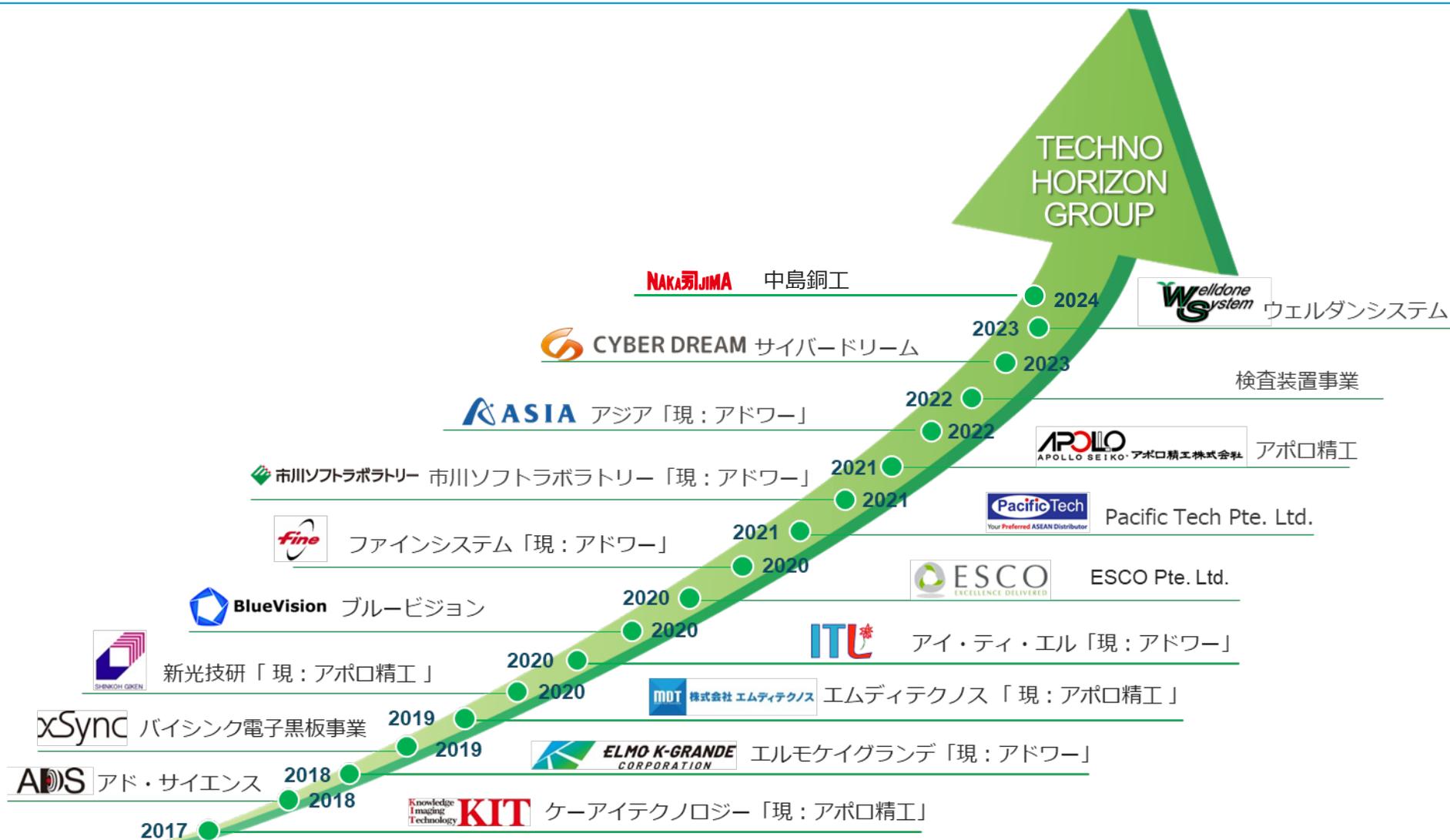
- ✧ 人材確保・育成
- ✧ コーポレート・ガバナンス

国内46拠点 / 海外44拠点

● 国内拠点 ■ 海外拠点



(6) 豊富なM & A実績



(7) 製品・サービス情報

一体型電子黒板/デジタルホワイトボード「ELMO Board」2024年度ラインナップ ～ELMO Board ハイグレードモデル・ハイエンドモデル～

➤ ELMO Boardにブランドを統一

➤ 新時代のインタラクティビティとコラボレーション性を併せ持つ “ハイグレードモデル”と“ハイエンドモデル”という2モデルが登場

《ハイグレードモデルについて》

- ◇NEXT GIGA環境に合わせた機能性を搭載
- ◇教育現場で培ってきたノウハウを生かした機能を搭載
- ⇒学びのスタイルに合わせた活用に柔軟に対応できるモデル

《ハイエンドモデルについて》

- ◇高性能のCPUを搭載、処理能力が向上することで、一人ひとりに合わせた学習環境の構築が可能
- ⇒令和の子どもたちの学びをサポートする機能性を搭載したモデル



電子黒板/デジタルホワイトボード
ハイグレードモデル



(7) 製品・サービス情報

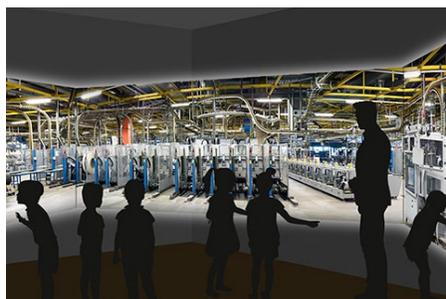
ELMO 没入空間ソリューションの提供開始

- テクノホライゾンが長年培ってきた光学技術を活かした没入型ディスプレイ技術を用いて没入コンテンツに適した環境を提供

- ◇VRゴーグルを使用せず、複数人で同時に体験可能
- ◇実世界の視界を完全に遮ることがないため、手軽かつ安全に使用できる
- ◇学校やオフィスなど、幅広い領域で活用可能



多角柱タイプ



学校
体験型学習、シミュレーション



オフィス
魅力的な発信スタジオ



観光
没入空間による集客



病院
リラックススペース

(7) 製品・サービス情報

卓上型セレクトティブ装置「アポロボ」発売のお知らせ

- 多品種少ロットを効率的に生産可能な、卓上式ポイントはんだ付け装置
- 低価格で初期投資に優しく、低ランニングコストで運用が可能

《主な特長》

- ◆省スペース&省エネ
⇒コンパクトなデザイン、エネルギー効率を向上
- ◆多品種少ロット生産
⇒生産ラインの柔軟性を向上
- ◆レイアウトフリー
⇒移動が容易、工場のレイアウトに合わせて配置可能
- ◆初期投資にやさしい低価格設定
⇒手頃な価格で高品質のはんだ付けを実現



AF 3040DTFL



AF 3040DTSL

(8) 2025年3月期の業績に影響する主な不確定要素

- ① 受注減少のリスク
- ② 資源価格高騰や急激な為替の変動
- ③ 新製品の開発リスク

(対策)

- ① 最適な営業体制の構築
- ② 価格競争力のある生産体制の構築
- ③ 開発及び品質管理の改善

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

I R担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： info@th-grp.jp

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス
授かった希望
未来へ羽ばたく風をつかめ

TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIETECH

APOLLO
APOLLO SEIKO

TECHNO HORIZON GROUP

ADS

BlueVision

ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

Pacific Tech

APOLLO
APOLLO SEIKO

Adwaa

CYBER DREAM

Welldone
system

NAKAJIMA